

一般社団法人日本循環器看護学会
令和2年度 第3回WEB理事会 議事録(案)

- 1 日 時 2021年2月10日(水)19時00分から20時30分まで
- 2 場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F)
- 3 出席者 眞嶋 朋子、宮脇 郁子、池亀 俊美、宇都宮 明美、岡田 彩子、大江 理英、
齊藤 奈緒、田村 綾子、林 亜希子、前田 靖子、三浦 稚郁子、明神 哲也
山田 佐登美、若林 留美、鷲田 幸一(以上理事)
坂本 明子(以上氏名理事)
瀬戸 奈津子(以上監事) 以上17名中15名出席(定足数8名)
(理事及び監事は、全員ZOOMによるWEB出席)／事務局 横川は事務局にて出席
- 4 欠席者 吉田 俊子

5 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第1号議案 第2回理事会議事録の確認について

眞嶋理事長より、第2回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会・退会者の承認について

令和2年11月13日～令和3年2月9日までに申請のあった入会申請者9名・退会希望者8名についての確認が行われたが、書類の不備により、後日総務委員会にて審議されることとなった。

第3号議案 「令和3年度(2021)研究助成制度」選考委員長及び、選考委員の承認について

「研究助成制度」の実施細則に基づき総務委員会より選出された「令和3年度(2021)研究助成制度」の選考委員長及び、選考委員について審議が行われ、異議なく承認された。

[研究助成選考委員長]

宮脇 郁子 副理事長 神戸大学

[研究助成選考委員]

岡田 彩子 学会誌編集委員会 委員長(理事) 日本赤十字看護大学さいたま看護学部

宇都宮 明美 選挙管理委員会 委員長(理事) 京都大学

若林 留美 総務委員会 副委員長(理事) 東京女子医科大学病院

瀬戸 奈津子 監事 関西医科大学

第4号議案 JANA2021-2022 役員選挙について

一般社団法人日本看護系学会協議会の2021-2022年度役員選挙の投票について、当学会として、理事候補者2名、監事候補者1名を選出し、異議なく承認された。

理 事 眞嶋 朋子、吉田 俊子

監 事 吉田 俊子

第5号議案 代議員及び役員選出に関する規程のHP掲載に関して

当学会ホームページへの「代議員選出に関する規程」「役員選出に関する規程」掲載について審議が行われ、意義なく承認された。

第6号議案 査読委員の増員について

学会誌の査読委員の増員について学会誌編集委員会より推薦された候補者3名について審議され、意義なく承認された。

明神 哲也 東京慈恵会医科大学医学部看護学科

南川 貴子 徳島大学大学院医歯薬学研究部

志摩 梓 株式会社平和堂 教育人事部健康サポートセンター
滋賀医科大学、聖泉大学 非常勤講師

第7号議案 著作権ポリシーについて

著作権ポリシーについて学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJデータベース)より協力依頼のあったアンケートの回答内容について審議が行われ、意義なく承認された。

また、本学会誌投稿論文の公開に係る規定については、今後、編集委員会で詳細を検討することとなった。

第8号議案 利益相反の指針・細則について

利益相反について、「利益相反の指針」一部改訂と、「利益相反の細則(案)」が提案され審議が行われ、それぞれ承認された。

・「利益相反の指針」の改訂箇所

変更前	変更後
<p>2. 対象者</p> <p>本指針は、利益相反状態が生じる可能性がある以下の対象者に対し適用される。</p> <p>1)本会学術集会における発表の筆頭演者</p>	<p>2.対象者</p> <p>本指針は、利益相反状態が生じる可能性がある以下の対象者に対し適用される。</p> <p>1)本会学術集会における発表の筆頭演者</p>

<p>2) 本会学会誌、刊行物における論文の筆頭著者</p> <p>3) 本会の役員(理事長、副理事長、理事、監事)、委員会委員、学術集会長</p>	<p>2) 本会学会誌、刊行物における発表を行う全ての著者</p> <p>3) 本会の役員(理事長、副理事長、理事、監事)、委員会委員、学術集会長</p>
<p>附則</p> <p>本指針は 令和2年7月10日より試行期間とし、2020年度の学術集会時より完全実施とする。</p>	<p>附則</p> <p>1. 本指針は 令和2年7月10日より試行期間とし、2020年度の学術集会時より完全実施とする。</p> <p>2. 令和3年2月10日、改定第5版 修正箇所: 退所者②②論文の筆頭著者を発表を行う全ての著者とした。</p>

・「利益相反の細則」について

提案された細則案の下記について、加筆・修正が行われ、承認された。

5. 申告すべき内容

- 8) その他の報酬(研究および学術活動とは直接関係のない旅費や贈答品など)については、一つの企業・団体などからの報酬が年間10万円以上支払われた場合

(報告事項)

1. 倫理審査の実施について

2020年度の研究倫理審査として、1月に1件の申請があり審査を行ったことが報告された。初回審査では「条件付き承認」となり、2月5日に再申請を受け、再審査中であることが報告された。

2. 教育セミナーについて

本年度はオンラインセミナー1回(ライブ配信)の開催として、下記の通り検討中であることが報告された。

- ・実施は2021年6月末もしくは7月初旬を目標とする。
- ・企画・宣伝は従来通りの方法で実施する。(受付、登録・決済は、事務局に依頼)
- ・参加者500人が可能なZOOMのウェビナー機能をライセンス契約する。
188,200円/年で年間契約のため、次年度も時期を考慮すれば何年度でも継続活用可能となる。
- ・セミナー当日の運営は、委員会メンバーで行い、ライブ配信のみとする。
(オンデマンド配信を行うためには、専門の制作会社の支援が必要であり、予算上困難と考え、まずは、オンライン配信のみとして検討)
- ・終了後アンケートの実施(事務局のアンケート機能を使用。作成～集計まで実施する)

<今後の検討事項>

- ・オンラインセミナーのため、終日開催ではなく、3時間程度の配信とする方針である。それに伴い参加費の設定について、詳細の収支を作成し、検討する。
- ・セミナー資料の配布方法について、「事前送付」「PDF資料にしてメールで送信」など、それぞれのメリット・デメリットを考慮して検討。

3. 日本学術会議の申請について

日本学術会議の協力団体の申請にある「会員の半数が研究者である」条件について会員状況を把握するため、令和2年12月～令和3年1月にかけて実施したアンケート調査(学会全会員を対象)では、約200件の回答を得たことが報告された。また、現時点での情報として、このデータを元に申請を行う方向で進めることが報告された。

なお、今後は学会として会員の情報取得のため下記のような取り組みを検討することも提案された。

- ・新規会員登録の際の入力項目に「研究者かどうか」を追加設定する
- ・学術集会などで本件についての広報を行ない、理解と協力求める試みを行う

4. 会員ニーズ調査について

より正確な会員ニーズを把握するため、総務委員会及び政策・診療報酬委員会が、「会員ニーズ調査」の実施に向けて、具体的に項目などを検討していくことが報告された。

総務委員会と政策・診療報酬委員会での調査結果の使用目的を鑑み、共同で行うか、もしくは委員会毎に行うかについても、調査項目合わせて検討することとなった。

5. 若手研究費助成制度について

「若手研究費助成制度」の初年度の募集に対し、1件の応募があったことが報告された。また、本件に関して、本理事会の第3号議案として承認された選考委員長、及び、選考委員が進めていくこととなり、今後は4月の理事会にて助成金対象者の報告・審議、7月末に実績報告という流れとなることが合わせて報告された。

6. 第18回学術集会の進捗状況について

2021年10月9日(土)、10日(日)に名古屋にて開催予定の第18回学術集会について、下記進捗の報告が行われた。

1. 進捗状況

①引継ぎについて…2020年12月22日に第17回学術集会大会長 宇都宮先生より丁寧な引継ぎを受けた。

②広報

- ・第18回学術集会ホームページ開設完了
- ・学会ホームページに第18回学術集会のお知らせの掲載およびバナーの掲載完了
- ・学会事務局より、学会員宛に学術集会開催案内のメール配信完了(2020/12/02 済)
- ・ポスターおよびチラシの郵送 計490施設 完了
(学会会員所属施設311施設、東海3県の循環器標榜施設162施設、看護協会等)

③プログラムについて

- ・基調講演、特別講演、教育講演(演者の内諾頂いたプログラムのみ記載)
基調講演…演者 井部俊子先生(井部看護管理研究所 代表)
「循環器看護の進化を問う 循環器看護の歴史と今後の展望」(仮)
- ・特別講演…演者 松山大耕先生(臨済宗大本山 妙心寺 退蔵院 副住職)

「禅僧に学ぶ 人生会議(ACP)について」(仮)

・市民公開講座…演者 西田元彦先生(西田メディカルクリニック 院長)

「笑いと免疫力ー病気も逃げ出す笑いのチカラー」

・教育講演…演者 池松裕子先生(名古屋大学大学院 看護学コース 教授)

「循環器看護領域の海外最新研究レビュー」

・教育講演…演者 佐藤幸人先生(兵庫県立尼崎総合医療センター 診療部長)

「これからの心不全チーム医療ー心不全治療最前線と今後の心不全チームに期待することー」

教育講演…演者 水野篤先生(聖路加国際病院 循環器内科医師)

「循環器疾患患者への行動経済学を活かした指導」

・教育講演…演者 猪又孝元先生(北里大学北里研究所病院 循環器内科部長)

「心臓治療 up to date」

※演題募集要項作成中

③その他

・協賛企業募集に関しては、趣意書を作成し、郵送(9社)およびメール配信(115社)、手渡し(2社)を行なった

・12月に企業説明会をWEBにて開催(参加企業16社)

⇒2月10日現在の申し込み状況は、ランチョンセミナー7社、広告8社、企業展示1社の他、検討中の返事が2社

2. 確認事項

・循環器病研究振興財団研究発表会について

毎年開催しており今年も実施する。開催については寄付金10万円の提供が受けられる。

・査読委員は社員に依頼を行なう。

・参加者については、職種を問わないこと、また、職種による別料金は設定せず、会員か非会員の区別する。

・開催方法についての最終判断は、3月末までとする。

現状協賛回答を得ている企業の協賛条件として、開催方法における制限などはなく、ウェブ開催となった場合でもある程度の金額の協賛を得られる予定である。

※なお、キャンセル料は3月末日までは約90万円、4月以降は約150万となる。

7. 第19回学術集会の進捗状況について

2022年10月開催予定の第19回学術集会について、下記進捗の報告が行われた。

1. 会期 2022年10月1日(土)2日(日)

・オンデマンド配信を長めに(終了後~2023年1月10日(火)の約3か月の予定)設けることで余裕のある黒字開催を目指すことを検討中。

・開催期間が3日間になると助成金が受けられる関係で、9月30日(金)にプレコングレスセミナーの開催を検討中。

※2022年10月21日~23日は奈良県で心不全学会が開催される予定。

2. 開催場所 枚方市総合文化芸術センター(2021年3月末竣工予定)

大阪府枚方市新町2丁目1番60号 / <https://hirakata-arts.jp/>

※関西医科大学に隣接し、京都にも大阪にも30分あまりの京阪枚方市駅より徒歩5

※会場費を抑えるため、公的施設を利用予定。

3. テーマ

「臨機応変」

4. 企画委員会委員・事務局メンバー

大会長

瀬戸 奈津子(監事) 関西医科大学 看護学部・看護学研究科

企画委員(10名)

宇都宮 明美(理事) 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻

大江 理英(理事) 大阪府立大学 地域保健学域 看護学類

鷺田 幸一(理事) 兵庫県立尼崎総合医療センター

稲垣 美紀(社員) 摂南大学 看護学部

富山 美由紀(社員) 医療法人社団ゆみののぞみハートクリニック

辻 佐世里 関西医科大学香里病院 看護部

大北 沙由利 関西医科大学附属病院 看護部

事務局

事務局長 大原 千園 関西医科大学 看護学部・看護学研究科

会計 村内 千代 関西医科大学 看護学部・看護学研究科

庶務 藤本 悠 関西医科大学 看護学部・看護学研究科

5. 運営事務局 株式会社クレッシェー(東京都中央区月島1-8-1-915)

第17回大会の運営事務局としての実績があり、対応がよかったという評価を得ている、

6. その他 他学会との共催企画検討予定

(一社)日本糖尿病教育・看護学会

(一社)日本フットケア・足病医学会

8. 1月23日開催 JANA 会議への出席報告

眞嶋理事長と吉田監事が出席した同会議についての報告がなされた。

高度実践看護師の教育やNP協議会の制度などの見直しを含め、様々な問題の解決に向けての提案・協議が行われた。今後、関係各所を交え、体制や制度などを含め、検討が行われることとなった。

9. 1月18日開催 厚生労働省勉強会についての報告

厚生労働省より各都道府県へ通達された「循環器病対策推進基本計画」の現状について共有された。今後、各自が情報収集を行いながら、有益な情報があればお互いに提供していただきたい。

10. 「看保連の研究助成申請」について

各委員会へのヒアリングを行い、今年度は本学会からの申請は行われないことが確認された、

11. その他

委員会の引継ぎについて確認が行われた。

- ・メディカルオンラインについては、学会誌編集委員会にて進めることが確認された。
- ・人工臓器学会からの交流企画の申し入れについては、国内交流委員会にて進めることが確認された。
- ・学会ホームページについては、広報委員会と事務局にて課題などを確認することとなった。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和 3年 2月 10日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子 印

監事 瀬戸 奈津子 印